Aspire V5-122P

Aspire V5-122P ユーザーガイド
本改訂版：03/2013

AcerCloud を使用すると、いつでもどこでもデジタルライフを楽しむことができます。

このコンピュータは AcerCloud がプレインストールされた状態で出荷されます。AcerCloud は個人向けクラウドサービスです。これを使用するとインターネットからお客様のファイルにアクセスすることができるようになり、非常に重要なファイルを常に最新の状態に保つことができます。個人向けクラウドを使用すると、接続されたすべてのデバイス (PC、タブレット、電話) からメインのクラウド PC 上のファイルにアクセスできるようになります。詳細については、AcerCloud Web サイト (www.acer.com/acercloud) をご覧ください。

モデル番号 :
シリアル番号 :
購入日 :
購入場所 :

目 次

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために

安全に関するご注意

以下の内容を良くお読みいただき、指示に従ってください。この文書は将来いつでも参照できるように保管しておいてください。本製品に表示されているすべての警告事項および注意事項を遵守してください。

製品のお手入れを始める前に、電源を切ってください。

本製品を清掃するときは、電源コードをコンセントから引き抜いてください。液体クリーナーまたはエアゾールクリーナーは使用しないでください。水で軽く湿らせた布を使って清掃してください。

警告

電源コードの接続

電源コードを接続するコンセントは、装置からできるだけ近く、簡単に手が届く場所にあることが理想的です。装置から電源を外す場合は、必ずコンセントから電源コードを外してください。

電源の外し方

電源コードを接続したり、外したりする際は、次の点にご注意ください。

コンセントに電源コードを接続する前に、AC アダプターを装着してください。

コンピュータから電源ユニットを外す前に、AC アダプターを外してください。

システムに複数の電源がある場合は、すべての電源コードを AC アダプターから外してからシステムの電源を切ります。

電力の使用

- ラベルに表示されている定格電圧の電源をご使用ください。ご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーサービスセンターまたは現地の電気会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードは踏んだり、引っ掛けやすいところに配置しないでください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品が定格電流の合計の許容範囲を超えないようにご注意ください。
- 複数の装置をテーブルタップなどを使用して1つのコンセントに接続すると負荷がかかりすぎてしまいます。システム全体の負荷は、1 つのコンセントあたりの容量の 80% を目安にこれを超えないようにしてください。電源タップを使用する場合は、テーブルタップの容量の 80% を越えないようにしてください。
- 本製品の AC アダプターにはアース線付き 2 ピン電源プラグが付いています。電源プラグのアース端子をコンセントのアース端子に接続してください。機器の故障により、万一漏電した場合でも感電を防止することができます。
- **警告！ 接地アース線は安全対策用に設けられています。正しくアースされていないコンセントを使用すると、感電や負傷の原因となります。**
- ***注意***：*アースは、本製品とその近くにある他の電気装置との干渉により生じるノイズを防止する役割も果たします。*
- システムは 100 から 120 ボルト、または 220 から 240 ボルトで使用することができます。システムに同梱されている電源コードは、システムを購入された国 / 地域の規格に準拠した物です。海外 / その他の地域でシステムをご使用になる場合は、その場所の規格に合った電源コードをお使いください。電源コードの規格についての詳細は、専門販売店、またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

聴覚保護

- **警告：イヤフォンまたはヘッドフォンを使って長時間音楽を聴くと、聴覚障害を引き起こす原因となります。**

聴覚障害を引き起こさないために、次の指示に従ってください。

- 音量を上げるときには、適度なレベルになるまで少しずつ音量を調整してください。
- 耳が音に慣れた後は、音量を上げないでください。
- 長時間大音量で音楽を聴かないでください。
- 周囲のノイズを遮断しようとして、それ以上に大音量で音楽を聴かないでください。
- 近くで人が話している声が聞こえない程のレベルに音量を上げないでください。

ダミーカードについて

- ***注意***：*このセクションに記載される説明は、一部のコンピュータにのみ該当します。*

このコンピュータにはカードスロットにプラスチック製のダミーカードが挿入されています。このダミーカードは使用されていないスロットにゴミや金属の異物、その他ホコリなどが入るのを防止するために挿入されています。このダミーカードはスロットを使用しないときのために保存しておいてください。

全般

- 本製品が水溶液に触れる恐れのある所で使用しないでください。
- 本製品は、安定したテーブルの上に置いてください。不安定な場所に設置すると製品が落下して、重大な損傷を招く恐れがありますのでご注意ください。
- スロットおよび通気孔は通気用に設けられています。これによって製品の確実な動作が保証され、過熱が防止されています。これらをふさいだり、カバーをかけたりしないでください。ベッド、ソファなどの不安定な場所に設置して、これらがふさがることがないようにしてください。本製品は、暖房器具の近くでは絶対に使用しないでください。また、適切な通風が保証されないかぎり、本製品をラックなどに組み込んで使用することは避けてください。
- 本体のスロットから物を押し込まないでください。高圧で危険な個所に触れたり部品がショートし、火災や感電の危険を招く恐れがあります。

- 内部パーツが破損したり、バッテリー液が漏れたりする場合がありますので、本製品は必ず安定した場所に設置してください。
- 振動の強い環境で使用すると、予想しない電源ショートが発生したり、ルーター装置、HDD またはフラッシュメモリドライブ、光学ドライブなどが故障したり、あるいはリチウムバッテリーが爆発したりする危険性があります。
- 製品の底部、通気孔周囲、AC アダプターは高温になる場合があります。火傷を防止するために、製品が作動している間はこれらに触れないでください。
- この装置およびそのアクセサリ類には小さいパーツが含まれている場合があります。これらの部品は、お子様の手の届かない場所に保管しておいてください。

補修

お客様ご自身で修理を行わないでください。本製品のカバーを開けたり外したりすると、高圧で危険な個所に触れたりその他の危険にさらされる恐れがあります。本製品の修理に関しては、保証書に明示されているカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

次の場合、本製品の電源をオフにし、コンセントからプラグを引き抜き、保証書に明示されているカスタマーサービスセンターにご連絡ください。

- 電源コードまたはプラグが損傷したり擦り切れたりしたとき。
- 液体が本製品にこぼれたとき。
- 本製品が雨や水にさらされたとき。
- 本製品を落としたとき、またはケースが損傷したとき。
- 本製品に問題が生じ、サービスを必要とするとき。
- 操作の手順に従っても、コンピュータが正常に作動しない場合。
- ***注意***：*取り扱い説明書に記載されている場合を除き、その他のパーツを無断で調整するとパーツが破損する場合があります。その場合、許可を受けた技術者が補修する必要があるため正常の状態に戻すまでに時間がかかります。*

バッテリーの安全な使用について

このコンピュータはリチウムバッテリーを使用します。湿気の多い場所、濡れた場所、あるいは腐食性のある環境では使用しないでください。バッテリーは熱源の近く、高温になる場所、直射日光が当たる場所、オーブンレンジ内、あるいは密閉容器の中に置いたり、保管したり、放置したりしないでください。また 60°C (140°F) 以上の環境に放置することもお止めください。これらの注意に従わなければ、バッテリーからバッテリー液が漏れ出し、高温になったり、爆発、発火するなどしてケガや損傷の原因となります。

コンピュータやバッテリーに穴を開けたり、開いたり、解体したりしないでください。漏れ出したバッテリー液に触れてしまった場合は、水で完全に液を洗い流し、直ちに医者の指示を仰いでください。

安全のため、またバッテリーを長くお使いいただくために、0°C (32°F) 以下または 40°C(104°F) 以上の環境では充電を行わないでください。

新しいバッテリーは 2、3 回完全な充電と放電を繰り返した後でなければ完全な性能を発揮しません。バッテリーは何度でも充電と放電を繰り返すことができますが、徐々にその機能は劣化して行きます。作動時間が通常よりも著しく短くなった場合は、保証書に明示されているカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。バッテリーは Acer が提供するものをご使用になり、充電の際も Acer が提供する本製品専用の充電器のみをご使用ください。

バッテリーを高温または低温の場所 (夏や冬の車内など) に放置すると、バッテリーの性能および寿命は低下します。バッテリーは常に 15°C から 25°C(59°F から 77°F) の環境で保管するようにしてください。熱すぎたり、冷たすぎたりするバッテリーを使用すると、たとえバッテリーが完全に充電されていても、製品が一時的に使用できなくなる場合があります。凍結するような環境では、バッテリーの性能が特に低下します。

バッテリーを火の中に投げ込むと爆発する恐れがあります。バッテリーが破損している場合も爆発する可能性があります。ご使用済みバッテリーはお住まい地域の規定にしたがって処理してください。できる限りリサイクルにご協力ください。バッテリーは家庭用ゴミとして破棄しないでください。

- ***注意***：*バッテリーの出荷ドキュメントについては、**www.acer.com** を参照してください。*

- 警告！ バッテリーを誤って使用されますと爆発の危険があります。分解したり、火に投げ入れたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管し、使用済みバッテリーは速やかに廃棄してください。使用済みバッテリーは、お住まい地域の規定に従って処理してください。

無線周波数の干渉

- 警告！ 安全のために､次のような状況でラップトップコンピュータを使用する場合はワイヤレス装置や無線装置 (無線 LAN (WLAN)､ブルートゥース､3G 等) をすべて切ってください。

お住まい地域の規定に従ってください。また使用が禁止されている場所または干渉や危険を引き起こす可能性がある場所では、必ず装置の電源を切ってください。装置は必ず正常な操作位置でご使用ください。この装置は正常な状態で使用するとき RF 被爆規定に準拠します。装置とアンテナは使用者から 1.5 センチ以上離れた場所に設置してください。金属に接続・接触させることなく、装置は上記に記載した条件で設置してください。データファイルやメッセージを転送するには、ネットワーク接続の状態が良くなければなりません。場合によっては、接続が使用できるようになるまでデータファイルやメッセージの転送が遅れる場合があります。転送が完了するまで、上記の距離に関する指示に従ってください。装置の一部に磁石が使用されている場合があります。装置が金属を引き付ける場合がありますので、聴覚補助装置をお使いの方は、聴覚補助装置を使用した耳にこの装置を当てないでください。装置の近くにクレジットカードやその他の磁気記憶装置を置かないでください。それらに保管されている情報が消去される場合があります。

医療装置

携帯電話を含む無線通信装置を操作すると、保護が不十分な医療装置の機能に障害を与える恐れがあります。それらが外部からの電波から適切に保護されているかどうかについて､またその他のご質問については､医師または医療装置メーカーにお尋ねください。医療施設内で装置の電源を切ることが指示されている場合は、その指示にしたがってください。病院や医療施設では、外部からの電波の影響を受けやすい装置を使用している場合があります。

ペースメーカー：ペースメーカーの製造元は、ペースメーカーとの干渉を防止するために､ワイヤレス装置とペースメーカーの間に 15.3 センチ以上の距離を置くよう推奨しています。独立したリサーチ機関、およびワイヤレス技術リサーチ機関も同様の推奨をしています。ペースメーカーをご使用の方は、次の指示にしたがってください。

- 装置とペースメーカーの間には必ず 15.3 センチ以上の距離を保ってください。
- 装置の電源が入っているときには、ペースメーカーの近くに装置を置かないでください。干渉が生じていることが予想される場合は、装置の電源を切り、別の場所に保管してください。

聴覚補助装置：デジタル無線装置の中には、聴覚補助装置と干渉を起こすものがあります。干渉を起こす場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

乗り物

無線信号は、電子燃料注入システム、電子アンチロック・ブレーキ システム、電子速度制御システム、エアバッグシステムなどの自動車に装着された電子システムに対し、それらの電磁シールドが不十分な場合に影響を与える場合があります。詳細については、自動車または追加した装置のメーカーまたはその代理店にご確認ください。装置の補修、および自動車への装置の取り付けは指定された技術者が行ってください。補修や装着は正しく行わなければ大変危険であり、装置に付帯された保証を受けることができなくなります。自動車の無線装置はすべて、正しく装着されていることと、正常に作動していることを定期的にチェックしてください。装置、そのパーツ、またはアクセサリ類と同じ場所に可燃性液体､ガス､あるいは爆発の危険性がある素材を一緒に保管したり､運送したりしないください。エアバッグが搭載された自動車は強い衝撃を受けるとエアバッグが膨らみます。エアバックの上またはエアバッグが膨らむ場所に無線装置（装着済みまたは携帯用を含む）などを設置しないでください。車内に無線装置が正しく装着されておらず、エアバッグが作動してしまった場合は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。飛行機内でこの装置を使用することは禁止されています。搭乗前に装置の電源を切ってください。機内で無線電話装置を使用すると、飛行機の操縦に危害を与えたり、無線電話ネットワークを中断させたりする場合があり、法律により禁止されている場合もあります。

爆発の可能性がある環境

爆発の危険性がある場所では、かならず装置の電源を切り、表示されている注意や指示にしたがってください。爆発の危険性がある場所とは、通常自動車のエンジンを切るよう指示される場所を含みます。このような場所でスパークすると爆発や火災の原因となり、身体に傷害を与えたり、死亡に至る場合もあります。ガソリンスタンドの近くなど、燃料補給エリアでは装置の電源を切ってください。燃料補給所、貯蔵所、配送エリア、化学工場、爆発性の作業が行われている場所では、無線装置の使用に関する規定にしたがってください。爆発の危険性がある場所には、通常（ただし必ずではありません）そのことが明記されています。そのような場所とは、船舶の船室、化学薬品の運送または貯蔵施設、液体石油ガス（プロパンガスまたはブタンガス）を使用する自動車、粒子、ホコリ、あるいは金属粉末などの化学物質や粒子を空中に含む場所などが含まれます。ワイヤレス電話の使用が禁止されている場合、または干渉を受ける場合、危険な場合はコンピュータをオンにしないでください。

緊急電話

- 警告：この装置から緊急電話を掛けることはできません。緊急電話は携帯電話かその他の電話システムからお掛けください。

破棄について

この電子装置は家庭用ゴミとして廃棄しないでください。地球環境を保護し、公害を最小限に留めるために、再利用にご協力ください。WEEE (Waste from Electrical and Electronics Equipment) 規定についての詳細は、www.acer-group.com/public/Sustainability/sustainability01.htm をご覧ください。日本では 2004 年 11 月以降にご購入頂いた家庭向けコンピュータに対し、リサイクルサービスを実施しております。詳しくは弊社ホームページをご確認下さい。

水銀についての注意

内部に電球があるプロジェクタ、またはディスプレイを含む電子製品の場合：本製品内部のランプは水銀を含んでおり、お住まい地域、都道府県、国の法律に従ってリサイクルまたは廃棄する必要があります。

詳細については、Electronic Industries Alliance (www.eiae.org) にお問い合わせください。ランプの破棄については、www.lamprecycle.org をご参照ください。

ENERGY STAR

Acer の ENERGY STAR 準拠製品は、消費電力を抑え、機能性や性能に影響を与えることなく環境を保護します。Acer は自信を持って、ENERGY STAR ロゴが付いた製品をお届けします。

ENERGY STARって何？

ENERGY STAR 規格に準拠した製品は、米国環境保護局が設定した厳格なエネルギー効果指南に基づき、消費電力量を抑え、温暖化ガスの発生を最小限に抑えます。Acer は製品およびサービスを国際的に提供することで、お客様が費用とエネルギーを節約し、地球環境を向上できるように努力します。詳しくは、**www.energystar.gov** または **www.energystar.gov/powermanagement** をご参照ください。

- ***注意**：このセクションに記載される説明は、一部のコンピュータにのみ該当します。*

Acer ENERGY STAR 準拠製品の特徴：

- 発熱量が少なく、冷却量が少なくて済むため、地球の温暖化防止に役立ちます。
- 無作動状態になると、それぞれ自動的に 10 秒で「画面がスリープ」状態に、30 分で「コンピュータがスリープ」状態になります。
- キーボードを押したとき、またはマウスを動かしたときにスリープモードから復帰します。
- スリープモードでは 80% 以上の電力を節約できます。

ENERGY STAR および ENERGY STAR 記号は、米国の登録記号です。

快適にご使用いただくために

長時間コンピュータを操作すると、目や頭が痛くなる場合があります。また身体的な障害を被る場合もあります。長時間に及ぶ操作、姿勢の悪さ、作業習慣の悪さ、ストレス、不適切な作業条件、個人の健康状態、あるいはその他の要素によって、身体的な障害が生じる確率は高くなります。

コンピュータは正しく使用しなければ、手根管症候群、腱炎、腱滑膜炎、その他の筋骨格関連の障害を引き起こす可能性があります。手、手首、腕、肩、首、背中に次のような症状が見られる場合があります。

- 麻痺、ヒリヒリ、チクチクするような痛み。
- ズキズキする痛み、疼き、触ると痛い。
- 苦痛、腫れ、脈打つような痛さ。
- 凝り、緊張。
- 寒気、虚弱。

このような症状がみられたり、その他の症状が繰り返しまたは常にある場合、またはコンピュータを使用すると生じる痛みがある場合は、直ちに医者の指示に従ってください。

以下に、コンピュータを快適に使用するためのヒントを紹介します。

心地よい作業態勢に整える

最も心地よく作業ができるように、モニタの表示角度を調整したり、フットレストを使用したり、椅子の高さを調整してください。次のヒントを参考にしてください。

- 長時間同じ姿勢のままでいることは避けてください。
- 前傾になりすぎたり、後ろに反りすぎたりしないでください。
- 足の疲れをほぐすために、定期的に立ち上がったり歩いたりしてください。
- 短い休憩を取り首や肩の凝りをほぐしてください。
- 筋肉の緊張をほぐしたり、肩の力を抜いたりしてください。
- 外部ディスプレイ、キーボード、マウスなどは快適に操作できるように適切に設置してください。

- 文書を見ている時間よりもモニタを見ている時間の方が長い場合は、ディスプレイを机の中央に配置することで首の凝りを最小限に留めることができます。

視覚についての注意

長時間モニタを見たり、合わない眼鏡やコンタクトレンズを使用したり、表面の反射が多い画面、高すぎる輝度設定、焦点があっていない画面、小さい文字、低コントラストのディスプレイなどは目にストレスを与える原因となります。次のセクションでは、目の疲れをほぐすためのヒントを紹介します。

- 頻繁に目を休ませてください。
- モニタから目を離して遠くを見ることによって目を休ませてください。
- 頻繁に瞬きをするとドライアイから目を保護することができます。

ディスプレイ

- ディスプレイは清潔に保ってください。
- ディスプレイの中央を見るとき、視線が下を向くように、頭の高さがディスプレイの上辺よりも高くなるようにしてください。
- ディスプレイの輝度やコントラストを適切に調整することにより、テキストの読みやすさやグラフィックの見易さが向上します。
- 次のような方法によって画面からの反射や映り込みを防止してください。
  窓や光源に対して横向きになるようにディスプレイを設置してください。
  カーテン、シェード、ブラインドなどを使って室内の照明を最小化してください。
  デスクライトを使用してください。
  ディスプレイの表示角度を調整してください。
  反射防止フィルムを使用してください。
  ディスプレイの上部に厚紙を置くなどしてサンバイザーの代わりにしてください。
- ディスプレイを極端な表示角度で使用することは避けてください。
- 長時間、ディスプレイ上で開いているウィンドウなど、明るい光源を見つめないでください。

正しい作業習慣を身に付ける

次のような習慣でコンピュータを使用すると、よりリラックスした状態で作業を行うことが可能になり、生産性も向上します。

- 定期的かつ頻繁に短い休憩を取ってください。
- ストレッチ運動をしてください。
- できるだけ頻繁に新鮮な空気を吸ってください。
- 定期的に運動をして身体の健康を維持してください。
- **警告！ ソファやベッドの上でコンピュータを操作することはお薦めしません。どうしてもその必要がある場合は、できるだけ短時間で作業を終了し、定期的に休憩を取ったりストレッチ運動をしたりしてください。**
- ***注意***：*詳細は、**91 ページの「規格と安全のためのご注意」**を参照してください。*

光学ドライブ装置に関する注意

- ***注意：*** *このセクションの情報は、ご使用のコンピュータに適用されない場合があります。*

注意：この装置はレーザーシステムを内蔵しており、「CLASS 1 レーザー製品」として分類されます。この装置で問題が発生した場合は、お近くのカスタマーサービスセンターにお問い合せください。レーザー光線の被曝を防止するため、装置の外装は開けないでください。

CLASS 1 レーザー製品

注意：開放時の目に見えないレーザー光。光線の被曝を

回避してください。

- ***警告！*** *安全のため、パーツの追加または交換時には互換性があるパーツを使用してください。オプションパーツの購入については、販売店にお問い合わせください。*

はじめに

この度は、Acer 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

各種ガイドについて

本製品を快適にご使用いただくために、次のガイドが提供されています。

初めての方は、**セットアップガイド**の解説に従ってコンピュータをセットアップしてください。

クイックガイドは、本製品についてわかりやすく解説してありますので、必ずお読みいただき、正しくお使い下さい。Aspire M5 ユーザーガイドには、システムユーティリティ、データ復元、拡張オプション、トラブルシューティングなどの詳細情報を記載しております。その他、保証情報および一般的な規制、安全のためのご注意なども記載されています。

コンピュータの取り扱いと使用に関するヒント

コンピュータをオン / オフにします。

コンピュータの電源をオフにするには、次の操作のどれかを行ってください。

- Windows のシャットダウン機能 :**[設定]>[電源]>[シャットダウン]** の順にクリックします。

コンピュータを完全にシャットダウンするのではなく、コンピュータの電源を短時間落とす場合は、電源ボタンを押すことにより、コンピュータをスリープにすることができます。

スリープホットキー <**Fn**> + <**F4**> を押してもコンピュータをスリープモードにすることができます。

> ***注意*** *: 通常の方法でコンピュータの電源をオフにできない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押してください。コンピュータの電源を入れ直す場合は、最低 2 秒間待ってください。*

コンピュータの取り扱い

コンピュータは、次の点に注意して取り扱ってください。

- 直射日光に当てないでください。また、暖房機などの熱を発する機器から放してお使いください。
- コンピュータを長時間 0°C 以下、または 50°C 以上の環境に放置しないでください。
- 磁気に近づけないでください。
- 雨や湿気にさらさないでください。
- 液体をかけないでください。
- 強いショックを与えたり、激しく揺らしたりしないでください。
- ほこりや塵を避けてください。
- コンピュータの上には、絶対にものを置かないでください。
- ディスプレイを乱暴に閉めないでください。
- コンピュータは、安定した場所に設置してください。

AC アダプターの取り扱い

AC アダプターは、次のように取り扱ってください。

- その他のデバイスに接続しないでください。
- 電源コードの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。人の往来が多いところには、電源コードおよびケーブルを配置しないでください。
- 電源コードをはずすときは、コードではなくプラグを持ってはずしてください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品の定格電流の合計が超えないように注意してください。

清掃とサービス

コンピュータの清掃は、以下の手順に従ってください。

1. コンピュータの電源をオフにしてください。
2. AC アダプターを外します。
3. 柔らかい布で本体を拭いてください。液体またはエアゾールクリーナは、使用しないでください。

次の状況が発生した場合：

- コンピュータを落としたとき、またはケースが損傷したとき
- コンピュータが正常に動かないとき

77 ページの「FAQ」を参照してください。

ACER ノートブックツアー

セットアップポスターの解説に従ってコンピュータをセットアップしてください。Acer コンピュータの各部品の名称および操作方法については、以下をご参照ください。

Aspire V5-122

スクリーン面

#	アイコン	アイテム	説明
1		Acer Crystal Eye WEB カメラ	静止画・ビデオ通信用の WEB カメラです。 WEB カメラが有効なときに、WEB カメラの横のランプが点灯します。
2		タッチスクリーン	コンピュータの出力を表示します。マルチタッチ入力に対応しています。

キーボード

#	アイコン	アイテム	説明
1		電源ランプ	コンピュータの電源がオンのときに点灯します。
		バッテリーランプ	コンピュータのバッテリーが充電されているときに点灯します。 ***充電中*：バッテリーを充電している間、ランプは琥珀色に点灯します。** ***完全に充電*：プラグ接続されているときは、ランプは青く点灯します。**

#	アイコン	アイテム	説明
2		キーボード	コンピュータにデータを入力するときに使用します。 30 ページの「キーボード」を参照してください。 ***注意***：*キーボードには冷却用の通気孔が設置されています。キーボード プロテクタや同様のカバーをご使用にならないでください。*
3		タッチパッド	マウスと同じように機能し、指を触れることで反応するポインティングデバイスです。
4		マイクロフォン	録音用の内部マイクロフォンです。

左面

#	アイコン	アイテム	説明
1		盗難防止用 ロックスロット	Kensington 対応コンピュータセキュリティロックを接続します。 コンピュータセキュリティロックケーブルを、テーブルや施錠した引き出しの取手など、動かない物に巻き付けます。 ロックをノッチに挿入して、キーを回すと、ロックがかかります。
2		通気孔および 冷却ファン	コンピュータの過熱を防止します。 通気孔をふさいだり、カバーをかけたりしないでください。
3		USB ポート	USB デバイスに接続します。

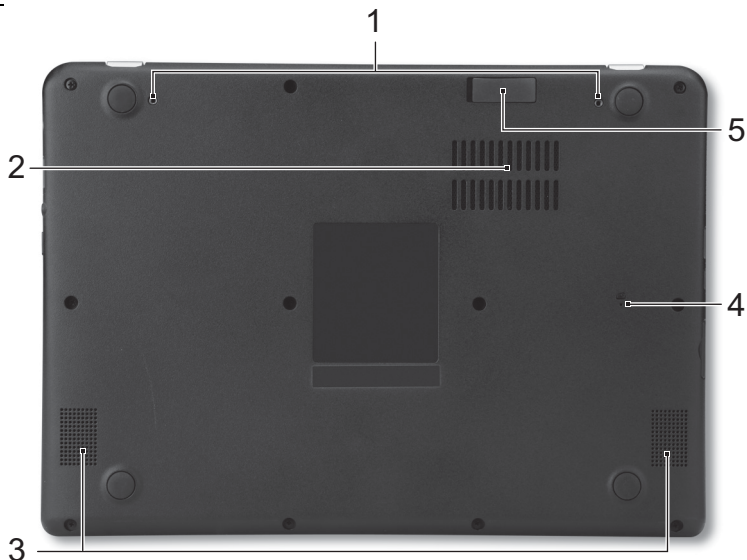
#	アイコン	アイテム	説明
4		Acer コンバータポート	Acer コンバータケーブルに接続します。これにより、LAN、外部ディスプレイ、または追加の USB デバイスに簡単に接続できるようになります。 ***注意*：接続可能なデバイスやポートのレイアウトは製品により異なる場合があります。**
5		SD カードリーダー	セキュアデジタル (SD または SDHC) カード 1 枚に対応しています。 ***注意*：カードを取り出すには、スロットから引き出してください。**

USB 3.0 に関する情報

- USB 3.0 対応のポートは青です。
- USB 3.0 以前のデバイスに対応しています。
- 最適性能を実現するには､USB 3.0認証のデバイスを使用してください。
- USB 3.0 (SuperSpeed USB) 規格によって定義されます。

右面

#	アイコン	アイテム	説明
1		電源ボタン	コンピュータの電源をオン / オフにします。
2		ヘッドフォン / スピーカー	ジャックオーディオデバイス (スピーカー、ヘッドフォンなど) やマイクロフォン付きのヘッドセットを接続します。
3		USB ポート	USB デバイスに接続します。
4		DC 入力ジャック	AC アダプターを接続します。

底面

#	アイコン	アイテム	説明
1		ネジ穴	オプションの予備用バッテリーを取り付けるためのネジ穴です。
2		通気孔および冷却ファン	コンピュータの過熱を防止します。 通気孔をふさいだり、カバーをかけたりしないでください。

#	アイコン	アイテム	説明
3		スピーカー	オーディオが出力されます。
4		バッテリーリセット穴	ペーパークリップを穴に挿入して 4 秒間押すと、コンピュータがリセットされます (バッテリーの取り外しと再取り付けをシミュレートします)。
5		拡張バッテリーコネクタ	駆動時間を延長する拡張バッテリーを接続するためのコネクタです (拡張バッテリーが同梱されていない機種もあります)。

キーボード

キーボードはフルサイズのキーとテンキーパッド、独立したカーソル、ロック、Windows キー、機能キー、特殊キーで構成されています。

ロックキーと埋め込み数値キーパッド

> ***注意***：*このセクションの情報は、ご使用のコンピュータに適用されない場合があります。*

コンピュータには、オンまたはオフに切り替えることができるロックキーが 3 つあります。

ロックキー	説明
Caps Lock	Caps Lock がオンのときには、すべてのアルファベット文字は大文字で入力されます。
Num Lock <**Fn**> + <**F11**>	Num Lock がオンのときには、内蔵テンキーパッドは数値モードになります。キーは計算機と同じように機能します (算術演算子 +、-、*、/ で完了します)。 大量の数値データを入力する必要がある場合は、このモードを使用してください。
Scroll Lock <**Fn**> + <**F12**>	Scroll Lock が ON のとき上または下カーソルキーを押すと、画面はそれぞれ 1 行上または 1 行下に移動します。 Scroll Lock は、特定のアプリケーションでは機能しません。

テンキーパッドは、デスクトップのテンキーパッドと同様に機能します。キーキャップの右上隅に小さい文字で示されています。キーボードが見やすいように、カーソル制御キー記号は表示されていません。

アクセス	Num Lock on	Num Lock off
内蔵テンキーパッドの数値キー	通常どおり、数値をタイプしてください。	
内蔵テンキーパッドのカーソル制御キー	**<Shift>** キーを押しながら、カーソルキーを使用してください。	**<Fn>** キーを押しながら、カーソルキーを使用してください。
メインキーボードのキー	**<Fn>** キーを押しながら、内蔵テンキーパッドの文字を入力してください。	通常どおり、文字をタイプしてください。

ホットキー

このコンピュータでは、ホットキーや 2 つ以上のキーを組み合わせて使用することにより、画面の輝度や出力音量など、のコンピュータのほとんどの操作を調整することができます。

ホットキーを利用するときには、**<Fn>** キーを押しながら、ホットキーの組み合わせとなる、もう 1 つのキーを押してください。

ホットキー	アイコン	機能	説明
<Fn> + <F3>		機内モード	コンピュータのネットワーク機器のオン / オフを切り替えます。

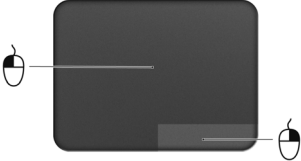
ホットキー	アイコン	機能	説明
<Fn> + <F4>		スリープ	コンピュータをスリープモードに切り替えます。
<Fn> + <F5>		ディスプレイ切り替え	ディスプレイ スクリーン、外付けモニター (接続されている場合)、またはその両方に出力するように切り替えます。
<Fn> + <F6>		ディスプレイオフ	ディスプレイのバックライトを OFF にして、電源を節約します。キーをどれか押すと、バックライトはオンになります。
<Fn> + <F7>		タッチパッドオン / オフ	内蔵タッチパッドのオン / オフを切り替えます。
<Fn> + <F8>		スピーカー切り替え	スピーカーをオン / オフにします。
<Fn> + <F9>	A	キーボードのバックライト	キーボードのバックライトをオン / オフにします *特定のモデルのみ。*
<Fn> + <F11>	NumLk	Number Lock	テンキーパッドのオン / オフを切り替えます。

ホットキー	アイコン	機能	説明
<Fn> + <F12>	Scr Lk	Scroll Lock	Scroll Lock のオン / オフを切り替えます。
<Fn> + <▷>		輝度を上げる	画面の輝度を上げます。
<Fn> + <◁>		輝度を下げる	画面の輝度を下げます。
<Fn> + <△>		音量を上げる	スピーカーのボリュームを上げます。
<Fn> + <▽>		音量を下げる	スピーカーのボリュームを下げます。

Windows キー

キーボードは、Windows 機能用のキーを 2 つ装備しています。

キー		説明
	Windows キー	単独で押すと、[スタート] 画面に戻ります。 他のキーと合わせて使用することにより、別の機能を実行します。Windows ヘルプを参照してください。
	アプリケーションキー	このキーは、マウスの右ボタンをクリックするのと同じ機能があり、アプリケーションのコンテキストメニューを開きます。

タッチパッド

タッチパッドの基本

タッチパッドは、画面上の矢印 (カーソル) を制御します。タッチパッド上で指を滑らせると、カーソルはその動きをたどります。

> *注 : タッチパッドは指の動きに敏感です。タッチが軽いほど、反応がよくなります。*
> *タッチパッドと指は、清潔で乾燥した状態に保ってください。*

カーソルは、いくつかの基本的なジェスチャによって制御されます。

- **1 本指スライド** : タッチパッド上で指を滑らせてカーソルを移動します。
- **1 本指プレス**または**タップ** : タッチパッドを下に押すか、タッチパッドを指で軽くタップして、クリックを実行します。これにより、項目が選択または起動されます。ダブルタップまたはダブルクリックを実行するには、タップを素早く繰り返します。
- **右下隅での 1 本指プレス** : タッチパッドの右下隅を押して、右クリックを実行します。[スタート] 画面では、アプリコマンドが切り替わります。ほとんどのアプリケーションでは、選択した項目に関連するコンテキストメニューが開きます。

- **ドラッグ** : タッチパッドの左下隅を押し続けるか、タッチタップ上の任意の場所を 2 回タップしてから、2 本目の指をタッチパッド上で滑らせて領域内のすべての項目を選択します。

タッチパッドジェスチャ

Windows 8 や多くのアプリケーションでは、1 つまたは複数の指を使用するタッチパッドジェスチャをサポートしています。

> *注 : タッチパッドジェスチャのサポートは、アクティブなアプリケーションに依存します。*

これにより、以下のような簡単なジェスチャでアプリケーションを制御できます。

- **端からスワイプイン** : Windows ツールにアクセスするには、右、上、または左からタッチパッドの中央へスワイプします。

  - **右端からスワイプイン** : チャームを切り替えます。
  - **上端からスワイプイン** : アプリコマンドを切り替えます。
  - **左端からスワイプイン** : 前のアプリに切り替えます。
- **2 本指スライド** : 2 本の指をタッチパッドに置いて、その両方をいずれかの方向に動かすことにより、Web ページ、文書、およびプレイリストを素早くスクロールします。

- **2 本指ピンチ** : 単純なつまみジェスチャで写真、地図、および文書を拡大 / 縮小します。

システムの復元

他の方法によってコンピュータを修復できない場合は、Windows オペレーティングシステムとプリロードされたソフトウェアとドライバの再インストールが必要となる場合があります。

Acer Recovery Management はリカバリーバックアップの作成、システムを工場出荷時の状態に復元、アプリケーションやドライバの再インストールを行うことができます。また、Windows の回復ツールか作成したリカバリー バックアップを使用するかを選択することもできます。

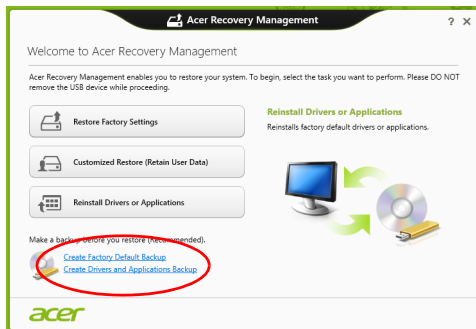
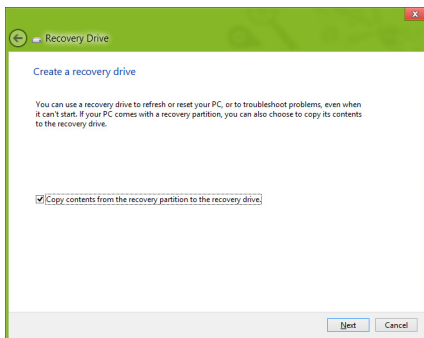
> ***注意*** *: Acer Recovery Management は、プリインストールされた Windows オペレーティングシステムでしか使用できません。*

> **重要 : 必要な場合に確実にコンピュータを復元できるようにするには、できるだけ早くリカバリーバックアップを作成する必要があります。**

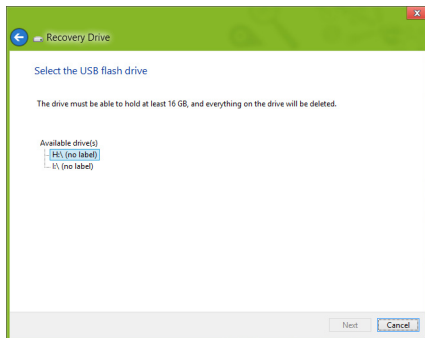
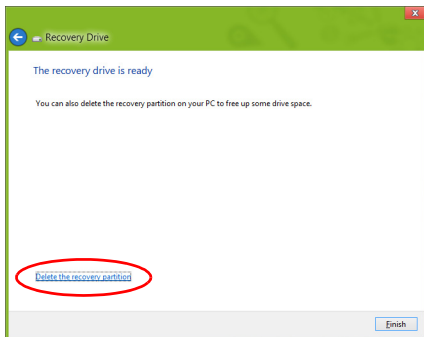
リカバリー バックアップの作成

USB フラッシュドライブからシステムを回復するには、あらかじめリカバリーバックアップを作成しておく必要があります。リカバリーバックアップには、オペレーティングシステムやプリインストールされたソフトウェア、ドライバなど、工場出荷時の内容が全て含まれています。リカバリーバックアップを使用すると、コンピュータを購入時の状態に復元することができます。個人の設定とデータを維持する回復オプションもあります。

注意：USB フラッシュドライブを使用する場合は、16GB 以上の空き領域があり、データが書き込まれていないことを確認してください。

1. **[スタート]** から「Recovery」と入力し、アプリリストで Acer Recovery Management をクリックします。

2. **[デフォルトイメージバックアップの作成]** をクリックします。回復ドライブ作成の画面が開きます。

[回復パーティションを PC から回復ドライブにコピーします。] にチェックが入っていることを確認してください。

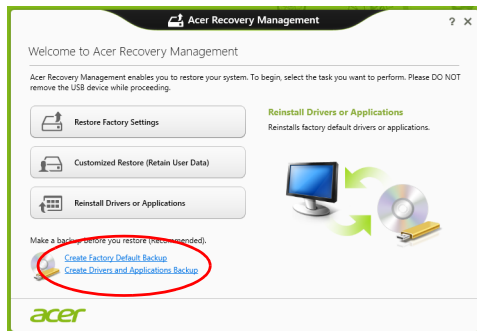
3. USB フラッシュドライブを接続し、**[次へ]** をクリックします。

- 作業を続行する前に、USB フラッシュドライブに十分な容量があることを確認してください。リカバリーバックアップをおこなうには、最低でも 16 GB の容量が必要です。

4. 画面にバックアップの進行状況が表示されます。
5. すべての作業が完了するまで続行してください。
6. リカバリーバックアップを作成した後は、コンピュータ上のリカバリー情報を削除できます。この情報を削除すると、USB リカバリーバックアップを使用しなければコンピュータを復元できなくなります。USB フラッシュドライブを紛失したり、データを消去すると、コンピュータを復元することができなくなります。

7. USB フラッシュドライブを取り外し、油性マーカーで回復ドライブの名称を書き込んでください。

重要：バックアップには、「Windows リカバリーバックアップ」などのように、分かりやすい名称を付けてください。バックアップは安全な場所に保管し、また保管した場所も覚えておいてください。

ドライバとアプリケーションのバックアップを作成

プリロードされたソフトウェアとドライバのリカバリーバックアップを作成するには、ドライバとアプリケーションのバックアップの作成をクリックします。USB フラッシュドライブを使用するか、コンピュータに書込み可能な光学ドライブが搭載されている場合は、空白のブランクディスクを使用してドライバとアプリケーションのバックアップを作成できます。

1. **[スタート]** から「Recovery」と入力し、アプリ リストで Acer Recovery Management をクリックします。

2. **[ドライバとアプリケーションバックアップの作成]** をクリックします。

   USB フラッシュドライブを接続するか、データの書き込まれていない DVD ブランクディスクを光学ドライブに挿入し、**[次へ]** をクリックします。

- 作業を続行する前に、USB フラッシュドライブに十分な容量があることを確認してください。

- 光学ドライブを使用する場合は、バックアップを作成するのに必要なブランクディスクの枚数も表示されます。同じタイプのブランクディスクが必要な枚数分あることを確認してください。

3. **[スタート]** をクリックして作業を開始します。画面にバックアップの進行状況が表示されます。
4. 次の手順に従って処理を完了してください。
   - 光学ディスクを使用する場合は、書き込みが完了するとディスクがイジェクトされます。ドライブからディスクを取り出し、油性のマーカーでディスクの名称を記入してください。
     複数のディスクが必要な場合は、指示があったら新しいディスクを挿入して **[OK]** をクリックしてください。すべての作業が完了するまでディスクの書き込みを続けてください。
   - USB フラッシュドライブを使用する場合は、USB フラッシュドライブを取り外し、油性マーカーで名称を書き込んでください。

     重要 : バックアップには、「ドライバとアプリケーションのバックアップ」などのように、分かりやすい名称を付けてください。バックアップは安全な場所に保管し、また保管した場所も覚えておいてください。

システムの復元

システムを修復するには：

1. ソフトウェアまたはドライバの再インストールを行ってください。
   ソフトウェアまたはハードウェアの 1 つか 2 つのアイテムだけが正常に作動しなくなった場合は、ソフトウェアまたはデバイスドライバを再インストールすることによって問題を解決できる場合があります。工場出荷時にプレインストールされていたソフトウェアやドライバを 再インストールするには、**46 ページの「ドライバとアプリケーションの再インストール」**を参照してください。
   プリインストールされていないソフトウェアやドライバを再インストールする手順については、製品の説明書またはサポートサイトを参照してください。
2. システムを前の状態に戻します。
   ソフトウェアやドライバを再インストールしても問題を解決できない場合は、システムが正常に作動していたときの状態にコンピュータを戻すことによって問題を解決できる場合があります。
   手順については、**50 ページの「システムを前の状態に戻す」**を参照してください。
3. システムを工場出荷時の状態に戻します。
   どうしても問題を解決できず、システムを工場出荷時の状態に戻したい場合は、**51 ページの「システムを工場出荷時の状態に戻す」**を参照してください。

ドライバとアプリケーションの再インストール

トラブルシューティングの手順として、コンピュータにプリインストールされていたソフトウェアおよびデバイスドライバの再インストールが必要となる場合があります。ハードディスクまたは作成したバックアップのいずれかを使って修復することができます。

- 新しいソフトウェア　—　コンピュータにプリインストールされていなかったソフトウェアを修復する必要がある場合は、ソフトウェアのインストールの手順に従ってください。
- 新しいデバイスドライバ — コンピュータにプリインストールされていなかったデバイスドライバを修復する必要がある場合は、デバイスに同梱される説明書の手順に従ってください。

コンピュータに保管された Windows とリカバリー情報を使って再インストールする場合：

- **[スタート]** から「Recovery」と入力し、アプリ リストで Acer Recovery Management をクリックします。

- **[ドライバまたはアプリケーションを再インストール]** をクリックします。

- Acer Resource Center の 内容 セクションをご覧ください。

- インストールしたいアイテムの**インストール**アイコンをクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了してください。
  必要なアイテムをすべてインストールできるまで、この手順を繰り返してください。

DVD または USB ドライブに保管されているドライバとアプリケーションのバックアップから再インストールする場合 :

1. ディスク ドライブに **[ドライバとアプリケーションのバックアップ]** を挿入するか、または [ドライバとアプリケーションのバックアップ] を作成した USB フラッシュドライブを USB ポートに接続してください。
   - DVD を挿入した場合は、Acer Resource Center が起動するまでお待ちください。
     - Acer Resource Center が自動的に開かない場合は、*Windows* キー + <**E**> を押して、光学ドライブ アイコンをダブルクリックします。

- USB ドライブを使用している場合は、*Windows* キー + <**E**> を押して、バックアップが保管されたドライブをダブルクリックします。ResourceCenter をダブルクリックします。

2. Acer Resource Center の 内容 セクションをご覧ください。

3. インストールしたいアイテムのインストールアイコンをクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了してください。必要なアイテムをすべてインストールできるまで、この手順を繰り返してください。

システムを前の状態に戻す

Microsoft システムの復元は、定期的にシステムの設定の「スナップショット」を撮影し、それらを復元ポイントとして保存します。修復が難しいソフトウェアの大抵の問題は、これらの復元ポイントの 1 つを使ってシステムを元に戻すことができます。

Windows は毎日追加の復元ポイントを自動作成します。またソフトウェアやデバイスドライバをインストールしたときにもこれを作成します。

復元ポイントに戻るには

1. **[スタート]** から「コントロールパネル」と入力し、アプリ リストで コントロール パネル をクリックします。
2. システムとセキュリティ > アクションセンターをクリックした後、画面の一 番下にある回復をクリックします。
3. システムの復元を開くをクリックした後、次へをクリックします。
4. 最後の復元ポイント (システムが正常に作動していた時点) をクリックし、次へをクリックした後で、完了をクリックします。
5. 確認画面が開きますので、はいをクリックしてください。システムは指定した復元ポイントまで復元されます。この処理が完了するまでには数分かかります。またコンピュータを再起動する必要があるかもしれません。

システムを工場出荷時の状態に戻す

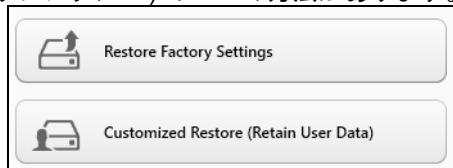
他の方法によってコンピュータを修復できない場合は、すべてを再インストールしてシステムを工場出荷時の状態への復元が必要となる場合があります。ハードディスクまたは作成したリカバリーディスクのいずれかを使って再インストールすることができます。

- まだ Windows を起動可能であり、リカバリー パーティションが削除されていない場合は、**51 ページの「Windows から修復する」**を参照してください。
- Windows を起動できず、元のハードディスクも完全にフォーマットされているか、別のハードディスクが装着されている場合は、**56 ページの「リカバリー バックアップから修復する」**を参照してください。

Windows から修復する

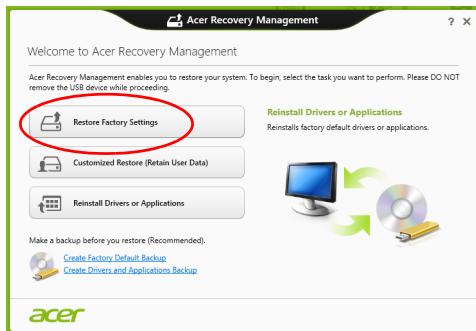
Windows の復元とプリインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールします。

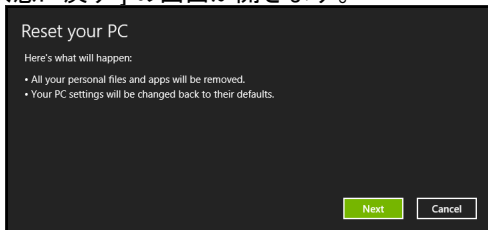
- **[スタート]** から「Recovery」と入力し、アプリ リストで Acer Recovery Management をクリックします。

修復には、**[オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に復元]**(PC を初期状態に戻す) と **[オペレーティングシステムを復元とユーザーデータを保持]**(PC のリフレッシュ) の 2 つの方法があります。

オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に復元するとハードディスク上のすべてが削除され、システムにプレインストールされていた Windows とすべてのソフトウェアおよびドライバが再インストールされます。ハードディスク上に重要なファイルがある場合は、修復を実施する前にバックアップを作成してください。具体的な手順は、**53 ページの「Acer Recovery Management で工場出荷時の状態に復元」**を参照してください。

オペレーティングシステムを復元とユーザーデータを保持を実行すると、ファイル (ユーザー データ) は保持されます が、すべてのソフトウェアとドライバが再インストールされます。コンピュータを購入された後にインストールしたソフトウェアは削除されます (Windows Store からインストールされたソフトウェアを除きます)。**55 ページの「Acer Recovery Management で復元」**を参照してください。

Acer Recovery Management で工場出荷時の状態に復元

1. **[オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に復元]** をクリックします。

注意 *：「オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に復元」を選択すると、ハードディスク上のすべてのファイルが消去されます。*

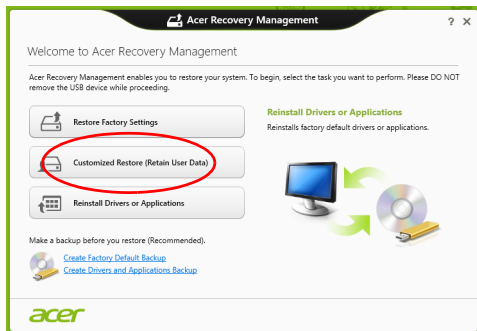
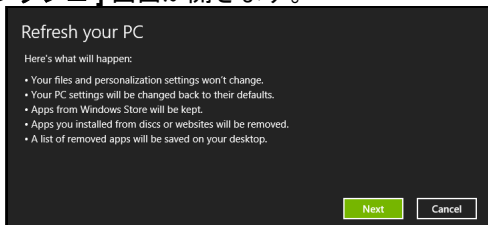
2. [PC を初期状態に戻す] の画面が開きます。

3. **[次へ]** をクリックし、ファイルをどのように消去するかを選択します。
   a. **[ファイルの削除のみ行う]** を選択すると、コンピュータを復元する前に すべてのファイルを消去します。この所要時間は約 30 分です。
   b. **[ドライブを完全にクリーンナップする]** を選択すると、ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全に消去します。消去したファイルは簡単に復元できなくなるので、セキュリティが高まりますが、処理に最大で 5 時間かかります。
4. **[リセット]** をクリックします。
5. コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。
6. 復元が終了した後は、初回スタートの手順を繰り返すことでコンピュータを使用できるようになります。

起動時にハードディスクから復元する

1. コンピュータの電源を入れて、起動時に **Alt + F10** を押します。キーボードレイアウトの選択を求める画面が表示されます。
2. いくつかのオプションが提供されます。**[トラブルシューティング]** をクリックします。
3. **[PC のリフレッシュ]** または **[PC を初期状態に戻す]** をクリックします。

   注意 *: [PC のリフレッシュ] をクリックすると、コンピュータはデフォルトの工場出荷時の状態に戻りますが、ファイルはそのまま残ります。[PC を初期状態に戻す] をクリックすると、ファイルはすべて削除され、コンピュータは工場出荷時の設定にリセットされます。*
4. **[次へ]** をクリックします。この処理には数分間かかります。

Acer Recovery Management で復元

1. **[オペレーティングシステムを復元とユーザーデータを保持]** をクリックします。

2. **[PC のリフレッシュ]** 画面が開きます。

3. **[次へ]** をクリックした後、**[リフレッシュ]** をクリックします。
4. コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。復元の所要時間は約 30 分です。

リカバリー バックアップから修復する

TUSB フラッシュドライブのリカバリー バックアップから復元するには

1. リカバリー バックアップ作成したUSB フラッシュドライブを用意します。
2. コンピュータにキーボードが内蔵されていない場合は、キーボードがコンピュータに接続されていることを確認します。
3. USB フラッシュドライブを接続し、コンピュータの電源を入れます。
4. まだ有効になっていない場合は、F12 ブート メニューを有効にする必要があります。
   a. コンピュータを起動後、Acer のロゴが表示されている POST 時に <**F2**> キーを押して、BIOS ユーティリティにアクセスしてください。
   b. 左右矢印キーを使って Main メニューを選択します。
   c. F12 Boot Menu が選択されるまで下矢印キーを押し、<**F5**> キーを押してこの設定を Enabled (有効) に変更します。
   d. 左右矢印キーを使って Exit (終了) メニューを選択します。
   e. コンピュータの BIOS の種類によって、**[Save Changes and Exit]** または **[Exit Saving Changes]** を選択した後、Enter を押します。[**OK**] または **[はい]** を選択して確定してください。
   f. コンピュータが再起動します。
5. スタートアップ中に <**F12**> キーを押すとブートメニューが開きます。ブートメニューでは、スタートするデバイス (ハードディスク、光学ディスク、USB ディスク) を選択できます。
   a. 矢印キーを使って **[USB Device]** を選択し、Enter を押します。

b. Windows が通常のスタートアップを行わずに、リカバリーバック アップから起動します。

6. ご使用のキーボードのタイプを選択します。

7. **[トラブルシューティング]** を選択し、復元のタイプを選択します。

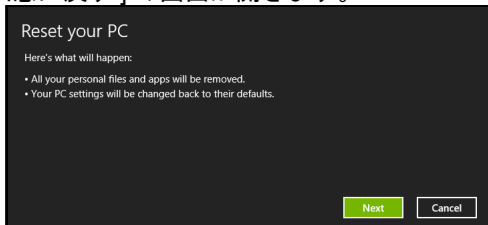
a. **[詳細オプション]** をクリックし、**[システムの復元]** をクリックすると、システムの復元が起動します。Microsoft システムの復元は、定期的にシステムの設定の「スナップショット」を記録し、それらを復元ポイントとして保存します。修復が難しいソフトウェアの大抵の問題は、これらの復元ポイントの 1 つを使ってシステムを元に戻すことができます。

b. **[PC を初期状態に戻す]** をクリックし、リセットを開始します。
[PC を初期状態に戻す] を実行するとハードディスク上のすべてが削除され、システムにプリインストールされていた Windows とすべてのソ フトウェアおよびドライバが再インストールされます。ハードディス ク上に重要なファイルがある場合は、まずそれらをバックアップし てください。**58 ページの「リカバリー バックアップから PC を初期状態に戻す」**を参照してください。

c. **[PC のリフレッシュ]** をクリックし、リフレッシュを開始します。
[PC のリフレッシュ] を実行すると、ファイル (ユーザー データ) は保持されますが、すべてのソフトウェアとドライバが再インストールされます。
コンピュータを購入された後にインストールしたソフトウェアは削除されます (Windows Store からインストールされたソフトウェアを除きます)。**59 ページの「リカバリー バックアップから PC のリフレッシュ」**を参照してください。

リカバリー バックアップから PC を初期状態に戻す

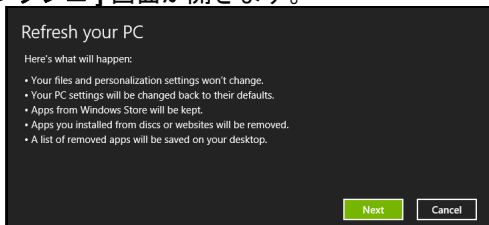
注意：*PC を初期状態に戻すと、ハード ドライブ上のすべてのファイ ルが消去されます。*

1. [PC を初期状態に戻す] の画面が開きます。

2. **[次へ]** をクリックします。
3. 復元するオペレーティング システムを選択します (通常は 1 つのオプションしかありません)。
4. ハード ドライブへの変更を維持する
   a. リカバリー パーティションを削除した場合、またはハードドライブのパーティションを変更してしまった場合、これらの変更内容を維持するには、**[いいえ]** を選択します。
   b. コンピュータを初期設定に復元する場合は、**[はい]** を選択します。
5. ファイルの消去方法を選択
   a. **[ファイルの削除のみ行う]** を選択すると、コンピュータを復元する前に すべてのファイルをすばやく消去します。復元の所要時間は約 30 分です。

b. **[ドライブを完全にクリーンナップする]** を選択すると、ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全に消去します。消去したファイルは簡単に復元できなくなるので、セキュリティが高まりますが、処理に最大で 5 時間かかります。

6. **[リセット]** をクリックします。
7. 復元が終了した後は、初回スタートの手順を繰り返すことでコンピュータを使用できるようになります。

<u>リカバリー バックアップから PC のリフレッシュ</u>

1. **[PC のリフレッシュ]** 画面が開きます。

2. [次へ] をクリックします。
3. 復元するオペレーティング システムを選択します (通常は 1 つのオプションしかありません)。
4. **[リフレッシュ]** をクリックします。
5. コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。復元の所要時間は約 30 分です。

省電力機能

このコンピュータにはシステムの動作状況を監視する、電源管理ユニットが内蔵されています。電源管理ユニットは、コンピュータのキーボード、マウス、ハードディスク、コンピュータに接続されている周辺機器等の動作状況を監視します。一定時間、操作していない時間が続くとき、消費電力を節約するために自動的にデバイスを停止する省電力機能が設定されています。

バッテリー

このコンピュータは長時間利用できるバッテリーを内蔵しています。

バッテリーの特徴

バッテリーはコンピュータに AC アダプターを接続すると充電されます。このコンピュータは、使用中でも充電することができます。

バッテリーの充電

AC アダプターをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。バッテリーを充電している間も AC 電源を使ってコンピュータ操作を継続することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く完了することができます。

> ***注意*** *: 1 日の終わりにバッテリーを充電されるようお薦めします。使用後に一晩中バッテリーを充電しておくと、翌日バッテリーが完全に充電された状態で作業を開始することができます。*

新しいバッテリーのコンディション調整

最初にバッテリーをお使いになる前に、バッテリーの「コンディション調整」を行う必要があります。

1. AC アダプターを接続し、バッテリーを完全に充電します。
2. AC アダプターを外します。
3. コンピュータの電源を入れて、バッテリー電源でコンピュータ操作を行います。
4. 低残量警告が表示されるまで、バッテリーを消耗させます。
5. AC アダプターを接続し、再びバッテリーを完全に充電します。

この手順に従って、バッテリーの充電と放電を 3 回繰り返します。

新しいバッテリーを購入された場合、あるいは長時間バッテリーを使用していない場合は、このコンディション調整を行ってください。

警告 : バッテリーを長時間 0°C 以下、または 45°C 以上の環境に放置しないでください。極度な環境では、バッテリーに著しい影響を与える恐れがあります。

バッテリーのコンディション調整を行い、バッテリーをできるだけ長期間使用できるように整えてください。この調整を行わなければ、バッテリーの充電可能回数が少なくなり、寿命も短くなります。

また次のような使用パターンは、バッテリーの寿命に影響します :

- 常に AC 電源でコンピュータを使用する。
- 上記で説明した方法で完全に充電と放電を行わない。

- 頻繁に使用する。バッテリーは使えば使うほど、寿命が短くなります。標準のコンピュータバッテリーは、1,000 回以上充電することができます。

バッテリーの寿命を最適化する

バッテリーの寿命を最適化すると、充電 / 放電サイクルを延長させ、効率良く充電することができるようになります。次のアドバイスにしたがってください。

- できるだけ AC 電源を使用し､バッテリーは外出用に保存しておきます。
- 使用していないアクセサリ (USB ディスクドライブなど) は、電力を消費し続ける可能性があるので取り外します。
- PC は涼しい､乾燥した場所に保管する｡推奨する温度は 10°C から 30°C です。気温が高くなると、バッテリーはより早く自己放電します。
- 何度も充電を繰り返すとバッテリーの寿命は短くなります。

低残量警告

バッテリーを使用するときには、電源メーターに注意してください。

警告：バッテリーの低残量警告が表示されたら、速やかに AC アダプターを接続してください。バッテリーが完全に消耗すると、コンピュータがシャットダウンしますのでデータが失われる可能性があります。

バッテリーの低残量警告が表示された場合の対処法は、作業状況によって異なります。

状況	対処法
AC アダプターとコンセントが近くにある場合。	1. AC アダプターをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。 2. 必要なファイルすべてを保存します。 3. 作業を再開します。 **バッテリーをできるだけ速く充電したい場合は、コンピュータの電源を切ってください。**
AC アダプターとコンセントが近くにない場合。	1. 必要なファイルすべてを保存します。 2. すべてのアプリケーションを閉じます。 3. コンピュータの電源を切ります。

コンピュータの携帯

ここでは、コンピュータを持ち運ぶときの方法やヒントについて説明します。

周辺機器の取りはずし

以下の手順に従って、コンピュータから周辺機器を外してください。

1. 作業を終了し、保存してください。
2. 光学ドライブからディスクを取り出しておきます。
3. コンピュータをシャットダウンしてください。
4. ディスプレイを閉じてください。
5. AC アダプターから電源コードをはずしてください。
6. キーボード、ポインティング　デバイス、プリンター、外付けモニタおよびその他の周辺機器を外してください。
7. ケンジントンロックを使用している場合は、それをはずしてください。

短距離の移動

オフィスデスクから会議室までなどの短距離を移動する場合についてご説明いたします。

携帯するための準備

コンピュータを移動する前に、ディスプレイを閉めて、スリープモードに切り替えてください。これで、ビルの中を移動することができます。コン

ピュータをスリープモードから標準モードに戻すには、ディスプレイを開けてください。次に、電源ボタンを押してください。

コンピュータをクライアントのオフィスや別のビルに携帯する場合は、コンピュータをシャットダウンすることもできます。

Windows キー+<**C**> を押して、**[設定]**>**[電源]**>**[シャットダウン]** の順にクリックします。

- または -

<**Fn**> + <**F4**> キーを押して、コンピュータをスリープモードに切り替えることもできます。次にディスプレイを閉じます。

コンピュータを再度使い始める際は、ディスプレイを開けて、電源ボタンを押してください。

> ***注意*** *: コンピュータはスリープモードに入って一定時間が経過すると、ハイバネーションモードまたはディープスリープ モードに入ります。*

会議に持っていくもの

短時間の会議であれば、コンピュータ以外のものを携帯する必要はないでしょう。ただし長時間にわたる会議や、電池が完全に充電されていない場合は、AC アダプターを携帯されることをお薦めします。

会議室にコンセントがない場合は、コンピュータをスリープモードに切り替えて電源の消費を最小限にとどめてください。コンピュータを使用していないときは、<**Fn**> + <**F4**> キーを押すか、またはディスプレイを閉めるようにしてください。標準モードに戻るには、ディスプレイを開けてください。

自宅に持ち帰る

オフィスと自宅の間を移動する場合についてご説明いたします。

携帯するための準備

コンピュータをご自宅に持って帰る場合は、以下の準備を行ってください。

- ドライブからメディアや CD をすべて取り出してあることを確認してください。メディアを挿入したままにしておくと、ドライブのヘッドが破損する場合があります。
- 移動中に動かないように、または落としたときに破損しないように、コンピュータを保護ケースまたは携帯用バックに入れてください。

注意：携帯ケースの中にコンピュータ以外のものを多く詰めすぎると、トップカバーに圧力がかかり、スクリーンが破損する恐れがあります。

持っていくもの

すでにご自宅に予備用がある場合以外は、次のアイテムをお持ちください。

- AC アダプターおよび電源コード
- 印刷されたセットアップガイド

注意事項

これらのガイドラインに従って、移動中はコンピュータを保護してください。

- 温度変化による影響を最小限にとどめてください。
- 長時間どこかに立ち寄る場合などは、コンピュータを車のトランクの中などに置いて熱を避けてください。
- 温度および湿度の変化は、結露の原因となることがあります。コンピュータを通常温度に戻し、電源をオンにする前に結露がないかどうか画面をチェックしてください。10°C (18°F) 以上の温度変化があった場合は、時間をかけてコンピュータを通常温度に戻してください。できる限り、30 分たったあとで使用を始めてください。

ホームオフィスの設定

頻繁にご自宅でコンピュータを使用する場合は、予備用の AC アダプターを購入することをおすすめします。これにより、AC アダプターを持ち運ぶ必要がなくなります。

ご自宅でコンピュータを長時間使用する場合は、外付けキーボード、外付けモニターまたは外付けマウスの使用もおすすめします。

長距離の移動

オフィスから顧客のオフィスまでや国内旅行など、長距離を移動する場合について説明します。

携帯するための準備

自宅に持ち帰るときと同じ要領でコンピュータを準備してください。バッテリーが充電されていることを確認してください。空港のセキュリティがコンピュータの持ち込み時に電源をオンにすることを要求することがあります。

持っていくもの

以下のアイテムをお持ちください。

- AC アダプター
- 別のプリンターを使用する場合は、追加のプリンタードライバファイルが必要です。

注意事項

自宅に持ち帰るときの注意事項に加えて、以下の事柄に注意してください。

- コンピュータは手荷物としてください。
- コンピュータの検査は手で行ってください。コンピュータは、X 線装置を安全に通過することができますが、金属探知器を使わないようにしてください。

海外旅行

海外に旅行する場合について説明します。

携帯するための準備

国内旅行用の準備と同じ要領で準備してください。

持っていくもの

以下のアイテムをお持ちください。

- AC アダプター
- 旅行先の国で使用できる電源コード
- 別のプリンターを使用する場合は、追加のプリンタードライバファイルが必要です。
- 購入の証明。空港の税関で、提示する必要がある場合があります。
- 国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW)

注意事項

コンピュータを持って移動する際の注意に従ってください。
海外へ旅行される場合は、上記の注意事項に加え、以下のヒントも役に立ちます。

- 海外でコンピュータを使用する場合は、AC アダプターの電源コードが現地の AC 電圧で使用できるかどうかを確認してください。使用できない場合は、現地の AC 電圧で使用できる電源コードをご購入ください。市販の変圧器は使用しないでください。
- 海外でモデムを使用する場合は、モデムとコネクタが現地の通信システムと互換性を持たないことがありますので、ご注意ください。

ワイヤレスネットワーク

インターネットへの接続

このコンピュータのワイヤレス LAN 機能はデフォルトでオンに設定されています。

Windows のセットアップ中に利用可能なワイヤレスネットワークを検出します。ワイヤレスネットワークを選択し、必要であればパスワードを入力してください。

コンピュータのワイヤレス LAN 機能のオン / オフを切り替えるには、**<Fn>+F3** を押します。

その他の設定が必要な場合は、Internet Explorer を開き、画面の指示に従ってください。

インターネットサービスプロバイダまたはルーターの説明書をお読みください。

Acer Instant Update ユーティリティ

Acer Instant Update ユーティリティは、システムが再開し、インターネット接続が利用可能な場合に、以下のアプリケーションのコンテンツを自動的にアップデートするために使用されます。

- ブラウザ：Internet Explorer 9 以上 (ビデオ Web サイトは除外)
- 電子メール：Outlook 2010 以上

ワイヤレスネットワーク

ワイヤレス LAN (または WLAN) はワイヤレス ローカルエリア ネットワークのことであり、ケーブルを接続せずに複数のコンピュータを接続することができます。ワイヤレスネットワークは簡単に設定できます。設定が完了すると、ファイル、周辺機器、インターネット接続を共有できるようになります。

ワイヤレスネットワークを利用する利点は何ですか？

利便性

ワイヤレス LAN システムは、ホームネットワークのユーザー全員が、ファイルやネットワークに接続された装置 (プリンタやスキャナなど) にアクセスできるようにします。

また自宅の他のコンピュータとインターネット接続を共有することもできます。

インストールが簡単

ワイヤレス LAN システムはすばやく、簡単に導入することができます。また壁や天井に穴を開けてケーブルを通す必要もありません。

ワイヤレス LAN のコンポーネント

自宅にワイヤレスネットワークを設定するには、次のものが必要となります。

アクセスポイント (ルーター)

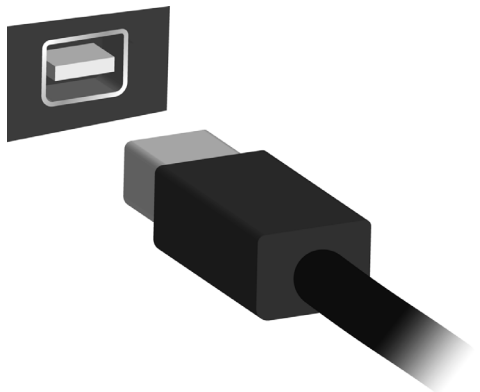
アクセスポイント (ルーター) は、データ送受信を行う双方向トランシーバーです。アクセスポイントは、有線ネットワークとワイヤレスネットワークの間の仲介役の役割を果たします。ほとんどのルーターには、高速 DSL インターネット接続にアクセスできる、DSL モデムが内蔵されています。通常は契約した ISP (Internet Service Provider) が、申し込み時にモデム / ルーターを提供します。アクセスポイント / ルーターに付属のガイドをよくお読みになり、セットアップの手順に従ってください。

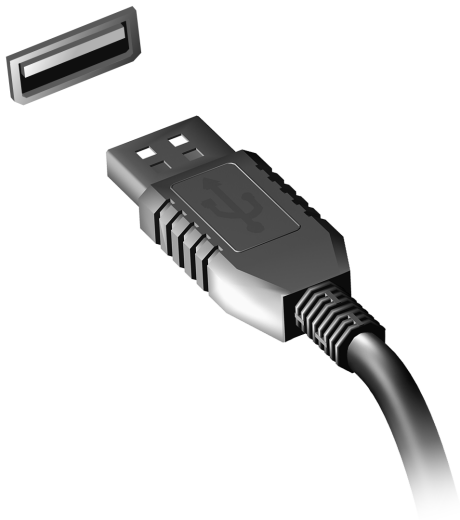
ACER コンバータポート

Acer コンバータポートは､単一ケーブルを使用してコンピュータの接続オプションを拡張できる固有のポートです。

Acer コンバータポートは、LAN 接続、外部ディスプレイ (VGA) ポート、および追加 USB ポートの 1 つまたは複数を専用ケーブルでサポートします。

このコンピュータと互換性がある Acer コンバータケーブルには、複数の周辺機器を接続できます。

> ***注意***：*接続可能なデバイスやポートのレイアウトは製品により異なる場合があります。*

USB

USB 2.0 ポートは、システムリソースを使わずに USB デバイスを使用することを可能にする高速シリアルバスです。

BIOS ユーティリティ

BIOS ユーティリティはコンピュータの BIOS に組み込まれた、ハードウェア構成プログラムです。

コンピュータは、すでに適切に設定されているので、セットアッププログラムを実行する必要はありません。しかし、設定に問題がある場合は、セットアッププログラムを実行することができます。

BIOS ユーティリティを起動するには、電源ボタンを押してシステムを起動します。コンピュータのロゴと画面の左上にカーソルが表示されましたら、キーボードの <**F2**> キーを 2，3 回連打します。

起動シーケンス

BIOS ユーティリティで起動シーケンスを設定するには、BIOS ユーティリティをアクティブにし、画面の上に一覧表示されたカテゴリから **Boot** を選択します。

パスワードのセット

起動時の BIOS パスワードを設定するには、BIOS ユーティリティを有効にする必要があります。画面の上に一覧表示されたカテゴリーから **Security** を選択します。**Password on boot:** を探し、<**F5**> キーと <**F6**> キーを使用してこの機能有効にしてください。

FAQ

コンピュータを使用しているときに発生する可能性のあるトラブルとその対処方法をご説明いたします。それぞれのトラブルの対処方法も説明してあります。

電源は入りますが、コンピュータが起動またはブートしません

電源 LED をチェックしてください。

- 点灯していない場合は、電源が供給されていません。以下についてチェックしてください。
  - バッテリー電源でコンピュータを使用している場合は、バッテリー充電レベルが低くなっている可能性があります。AC アダプターを接続してバッテリーパックを再充電してください。
  - AC アダプターがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 点灯している場合は、以下についてチェックしてください。
  - コンピュータに USB メモリデバイス (USB ディスクまたはスマートフォン) を接続していますか ? それを取り出し、<**Ctrl**> + <**Alt**> + <**Del**> キーを同時に押してコンピュータを再起動してください。

画面に何も表示されません

コンピュータのパワーマネージメントシステムは、電源を節約するために自動的に画面をオフにします。任意のキーを押してください。

キーを押してもディスプレイが元に戻らない場合は、次の 3 つの原因が考えられます。

- 輝度レベルが低すぎる可能性があります。<**Fn**> + <▷> キーを押して、輝度を調節してください。
- ディスプレイデバイスが外付けモニタにセットされている可能性があります。ディスプレイ切り替えホットキー <**Fn**> + <**F5**> を押し、ディスプレイを切り替えてください。
- スリープ LED が点灯している場合、コンピュータはスリープモードに切り替わっています。電源ボタンを押し、標準モードに戻ってください。

内蔵スピーカーから音が出ません

以下についてチェックしてください。

- ボリュームが上がっていない可能性があります。Windows 環境では、タスクバーのボリューム制御 (スピーカー) アイコンをチェックしてください。アイコンをクリックして、**全ミュート**機能を取り消してください。
- ボリュームレベルが低すぎる可能性があります。Windows 環境では、タスクバーのボリューム制御アイコンをチェックしてください。ボリューム制御ボタンを使って調節することもできます。
- ヘッドフォン、イヤフォンまたは外付けスピーカーがコンピュータのオーディオ出力ポートに接続されている場合、内蔵スピーカーは自動的にオフになります。

キーボードが動作しません

外付けキーボードをコンピュータの背面パネルにある USB コネクタに接続してください。これが動作する場合は、内部キーボードケーブルが損傷している可能性があります。

プリンターが動作しません

以下についてチェックしてください。

- プリンターをコンセントにしっかりと接続し、電源をオンにしてください。
- プリンタ ケーブルがしっかりと USB ポートとプリンタの該当ポートに接続されていることを確認してください。

海外での修理

国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW)

このコンピュータには、ご旅行中も安心してご使用いただけるように、国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW) が付いています。世界各地にある弊社のサービスセンターでサービスを受けることができます。

このパスポートには、ITW プログラムについてのご案内が記載されています。各国のサービス センターの所在地もこの冊子に記載されています。このパスポートを最後までよくお読みください。

サービスセンターでサービスを受ける場合は、このパスポートをお持ちください。ITW パスポートの表紙裏に購入証明 (レシート) を挟んでおいてください。

旅行先の国に弊社のサービスセンターがない場合でも、弊社の世界各地のオフィスに連絡することができます。**www.acer.com** にアクセスしてください。

インターネットサポート

下記の日本エイサーホームページよりサポートのページに行くことができます。「Q&A」や「よくある質問」など役に立つサポート情報を掲載しております。

日本エイサーホームページ：http://www.acer.co.jp/

カスタマーサービスセンター

電話サポート：0570-016868

メールサポート：jcsd@acer.co.jp

※ E メールサポートにてお問い合わせいただく際は、下記項目をご連絡ください。

- お名前：
- メールアドレス：
- お電話番号：
- ご住所：(郵便番号)
- 製品名：(例：AS3103WLCiB80)
- 購入日：(年月日)
- 製造番号：(S/N)
- 症状：(できるだけ詳しく)
〈いつから〉
〈何が〉
〈どのように〉
〈動作しない・発生する〉
〈発生頻度〉
〈1 日：回、1 週間：回、1 時間：回〉
〈原因のお心当りは？〉

トラブル対策

この章では、発生する可能性のあるトラブルに対処する方法についてご説明いたします。
問題が発生した場合は、お問い合わせの前にこのセクションをお読みください。トラブル状態から復旧できない場合は、コンピュータ内部を開く必要があるかもしれません。お客様ご自身で絶対にコンピュータを開かないでください。販売店またはカスタマーサービスセンターへお問い合わせください。

トラブル対策のヒント

このコンピュータは、問題を解決する手掛かりとなるエラー メッセージを表示するよう設計されています。

エラーメッセージが表示されたりトラブルが発生した場合は、「エラーメッセージ」を参照してください。トラブルを解消できない場合は、弊社のカスタマーサービスセンターへご連絡ください。**80 ページの「海外での修理」**を参照してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたら、それを書き出して対処してください。次の表は、エラーメッセージをその対処と合わせてアルファベット順に説明します。

エラーメッセージ	対処方法
CMOS battery bad	カスタマーサービスセンターにご連絡ください。
CMOS checksum error	カスタマーサービスセンターにご連絡ください。

エラーメッセージ	対処方法
Disk boot failure	システム (ブータブル) ディスクを挿入し、<**Enter**> を押してリブートします。
Equipment configuration error	POST の最中に <**F2**> キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスしてください。次に **Exit** キーを押して終了し、コンピュータを再設定してください。
Hard disk 0 error	カスタマーサービスセンターにご連絡ください。
Hard disk 0 extended type error	カスタマーサービスセンターにご連絡ください。
I/O parity error	カスタマーサービスセンターにご連絡ください。
Keyboard error or no keyboard connected	カスタマーサービスセンターにご連絡ください。
Keyboard interface error	カスタマーサービスセンターにご連絡ください。
Memory size mismatch	POST の最中に <**F2**> キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスしてください。次に **Exit** キーを押して終了し、コンピュータを再設定してください。

以上のように対処してもトラブルが解消されない場合は、カスタマーサービスセンターにご連絡ください。

Windows 8 を使うための方法やヒント

新しいオペレーティングシステムである Windows 8 は、使い慣れるまでに少し時間がかかることが予想されます。そこで、当社では、Windows 8 を簡単に始めることができるように、指針をいくつか作成しました。

留意すべき 3 つの概念

1. ***スタート***

[スタート]ボタンはありません。アプリは[スタート]画面から起動します。

2. タイル

ライブタイルは、アプリケーションのサムネイルに類似しています。

3. チャーム

チャームでは、コンテンツを共有する、コンピュータの電源を切る、設定を変更するなどの便利な機能を使用できます。

チャームにアクセスするには

チャームにアクセスするには、カーソルを画面の右上隅または右下隅に移動するか、*Windows* キー + <**C**> キーを押します。

[スタート] を表示する

キーボードの Windows キーを押す、*Windows* キー+<**C**> を押して **[スタート]** をクリックする、またはカーソルを画面の左下隅に移動して **[スタート]** をクリックします。

アプリの切り替えを行う

画面の左端にカーソルを移動し、現在動作中のアプリケーションのサムネイルを表示します。

また、*Windows* キー + **Tab** キーを押して、現在のアプリケーションのリストを開き、スクロールすることもできます。

コンピュータの電源を切る

チャームを開き、**[設定]** > **[電源]** をクリックした後、スリープ、シャットダウンなど行いたい動作を選択します。または、デスクトップから **[Acer Power Button]** をクリックし、実行したい操作を選択することもできます。

新しいスタートスクリーン

新しいスタートスクリーンは、タッチ入力をより正確に作動させるために設計された、Windows 8 用インターフェイスです。新しいスタートスクリーン用プログラムは自動的に全スクリーンを使用し、従来とは異なる方法で閉じられます。Windows アプリはライブタイルを伴って、[スタート] に表示されます。

「ライブタイル」とは

ライブタイルとはプログラムのサムネイルのようなものです。インターネットに接続すると新しいコンテンツに更新されます。例えば、アプリを開かなくても天気や株式情報を見ることができます。

コンピュータのロックを解除するには

任意のキーを押してユーザーアカウントアイコンをクリックすると、コンピュータのロックが解除されます。アカウントにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力しないと、操作を続行することができません。

コンピュータをパーソナライズする

ロック画面の背景画像、スタート画面のデザインを変更したり、タイルを並べ替えたりして *[スタート]* 画面をパーソライズすることができます。

背景を変更するには、チャームを開き、**[設定] > [PC 設定の変更] > [パーソナル設定]** をクリックします。ページの一番上からスタート画面をクリックし、デザインと画像を選択します。

タイルを移動する

タイルをクリックして選択し、*[スタート]* 上の表示する位置までドラッグします。そのタイルが新しい位置に収まるように、その他のタイルは移動します。

タイルのサイズを変更

タイルを右クリックした後、画面の下部に表示されるメニューから **[小さく]** または **[大きく]** を選択します。

ロック画面のパーソナライズ

ロック画面は画像を変更したり、クイックステータスや通知を表示するなどして、自由にパーソナライズすることができます。

背景を変更するには、チャームを開き、**[設定] > [PC 設定の変更] > [パーソナル設定]** をクリックします。ページの一番上でロック画面をクリックし、ロック画面上に表示したい画像とアプリを選択します。

スタートスクリーンでアプリを閉じる

画面の上から下へウィンドウをスワイプします。

スクリーンの解像度を変更

[スタート] から [コントロールパネル] と入力すると *[検索]* が開き、検索結果が表示されます。**[コントロールパネル] > [ディスプレイ] > [ディスプレイの設定]** の変更をクリックします。

従来のデスクトップを表示する

[スタート] から **[デスクトップ]** タイルをクリックすると、従来のデスクトップに戻ります。頻繁に使用するプログラムはタスクバーに留めておくと、簡単に起動できます。

Windows ストアアプリ以外のプログラムをクリックすると、Windows はそれを *デスクトップ*上に開きます。

プログラムを探す

[スタート] から開きたいプログラム / アプリの名前を入力し、*[検索]* を選択すると、検索結果が表示されます。

プログラム / アプリのリストを表示するには、スペースバーを押します。または、メニューキーを押して **[すべてのアプリ]** をクリックします。

プログラム / アプリを [スタート] に表示する

[すべてのアプリ] が表示されているときに、プログラムをスタートに表示したい場合は、該当するプログラム / アプリを選択して右クリックします。画面の下に表示されるメニューから **[スタート画面にピン留めする]** を選択します。

[スタート] からタイルを外す

タイルを右クリックして、画面の一番下に表示されるメニューから **[スタート画面からピン留めを外す]** を選択します。

プログラムをデスクトップのタスクバーに表示する

[すべてのアプリ] メニューからタスクバーに表示したいプログラムを選択して右クリックします。画面の下に表示されるメニューから **[タスクバーにピン留めする]** を選択します。

Windows ストアアプリをインストールする

Windows ストアアプリは Windows ストアからダウンロードできます。*ストア*からアプリを購入したり、ダウンロードしたりするには、Microsoft アカウントが必要です。

メモ帳やペイントなどのプログラムが見当たりません。どこにありますか

[スタート] から探したいプログラムの名前を入力して *[検索]* を開き、検索結果を待ちます。または *[すべてのアプリ]* を開き、[Windows アクセサリ] にスクロールすると、従来のプログラムがリストされます。

Microsoft アカウントとは

Microsoft アカウントは、Windows にサインインするときに必要な電子メールアドレスとパスワードです。どのような電子メールアドレスでも構いませんが、友達と連絡したり、好きなウェブサイトにサインインするときに使用しているものを使用すると良いでしょう。Microsoft アカウントでコンピュータにサインインすると、ファイルや写真にどこからでもアクセスでき、設定の同期なども行うことができます。

Microsoft アカウントは必要ですか

Microsoft ID がなくても、Windows 8 は使用できます。ただし、Microsoft ID を使用すると、サインイン先のさまざまなマシンでデータを同期することができるので、処理が簡単に行えます。

Microsoft アカウントを取得するには

Windows 8 が既にインストールされていて、Microsoft アカウントでサインインしていない場合、または Microsoft アカウントを取得したい場合は、チャームを開き、**[設定] > [PC 設定の変更] > [ユーザー] > [Microsoft アカウントへの切り替え]** をクリックします。その後は、画面の指示に従ってください。

スタートスクリーンの Internet Explorer にお気に入りを追加

スタートスクリーンの Internet Explorer には従来のお気に入りがありません。代わりに *[スタート]* へのショートカットを作成することができます。ページを開いたら、そのページのどこでも右クリックするとスクリーンの一番下にメニューが開きます。**[スタートにピン留めする]** をクリックします。

Windows アップデートをチェックするには

チャームを開き、**[設定] > [PC 設定の変更] > [Windows Update]** をクリックします。**[更新プログラムを今すぐ確かめる]** をクリックします。

規格と安全のためのご注意

FCC 規格

本製品はテストの結果、FCC 規定のパート 15 に基づくクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。この制限は住宅に設置した場合に有害な干渉が起きないようにするためのものです。本装置はラジオ周波数の電波を発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用されない場合、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかし、いかなる特定の設置条件でも干渉が起きないことを保証するものではありません。この装置によってラジオやテレビの受信に有害な干渉が発生する場合は (装置の電源をオン / オフすると分かります)、次の 1 つ以上の方法で干渉をなくすようにしてください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- 装置と受信装置の距離を広げる
- この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に問い合わせる

注意：シールド付きケーブル

コンピュータ機器との接続においては、FCC 規定に準拠するためにシールド付きケーブルを使用する必要があります。

注意：周辺機器

この装置には、クラス B の制限に準拠することが認められた周辺機器 (出入力機器、端末、プリンタなど) のみ接続することができます。認証されていない周辺機器を接続すると、ラジオや TV 受信機が干渉を受ける可能性があります。

注意：製造元が明記する場合を除き、この製品に変更や改造を加えると、FCC で認められたこの製品の使用権利が失われます。

カナダにお住まいの方へ

このクラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

ロシアの規定証明に準拠

ME61

LCD ピクセルに関する宣言

LCD ユニットは、高精細な製造技術を駆使して生産されています。しかしながら、ときどき一部の画素が抜け落ちたり、黒または赤い点として表示される場合があります。これは保存した画像には影響しませんし、故障を引き起こすものでもありません。

無線機器の規定に関する情報

注意：下記の情報は、ワイヤレス LAN および Bluetooth のみが搭載されているモデルのためのものです。

ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で使用するよう設計されています。

この製品は、ワイヤレスの仕様が認められた国または地域の無線周波および安全規定に準拠しています。構成によって、この製品にはワイヤレス無線装置 (ワイヤレス LAN や Bluetooth モジュール) が含まれる場合があります。下記の情報は、このような機器のためのものです。下記の情報は、このような機器のためのものです。

欧州連合の規定への準拠

Acer は、1999/5/EC 指令において求められる条件、およびその他関連する条項に準拠していることを宣言します。

異なるドメイン用のワイヤレス制御チャンネル

北米	2.412-2.462 GHz	Ch01 から Ch11
日本	2.412-2.484 GHz	Ch01 から Ch14
ヨーロッパ ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 から Ch13

フランス：制限されたワイヤレス周波域

フランスの一部の地域では、周波域が制限されています。最悪のケースで許可される室内最大電力は :

- 2.4 GHz (2400 MHz - 2483.5 MHz) 帯域全体で 10 mW
- 2446.5 MHz から 2483.5 MHz までの周波数域で 100 mW

注意：チャンネル 10 から 13 は、2446.6 MHz から 2483.5 MHz までの帯域での操作専用となっています。

野外使用においては、いくつかの可能性があります。個人の土地または行政人の土地においては、国防省の仮許可により 2446.5 - 2483.5 MHz 帯域で最大 100 mW の電力が認められています。公的施設の野外での使用は禁止されています。

下記の県では、2.4 GHz 帯域全体 :

- 最大室内電力 100 mW
- 最大野外電力 10 mW

2400 - 2483.5 MHz 帯域を使用する県では、室内 100 mW 以下と野外 10 mW 以下の EIRP が許可されています。

01 Ain Orientales

02 Aisne

03 Allier

05 Hautes Alpes

08 Ardennes

09 Ariege

11 Aude

12 Aveyron

16 Charente

24 Dordogne

フランス国内でもより広い地域でワイヤレス LAN カードを使用できるように、この要件は将来変更されるものと思われます。
最新情報については、ART にお問い合わせください (**www.art-telecom.fr**)。

注意：この WLAN カードは 100 mW 以下、10 mW 以上の電波を転送します。

国番号一覧

この機器は次の国で使用することができます。

国名
オーストリア
ベルギー
キプロス
チェコ共和国
デンマーク
エストニア
フィンランド
フランス
ドイツ
ギリシャ
ハンガリー
アイルランド
イタリア
ラトヴィア
リトアニア
ルクセンブルグ

カナダ - 低出力ライセンス免除無線通信デバイス (RSS-210)

RF フィールドによる人体被爆 (RSS-102)

このコンピュータは、カナダ保健省が定める、一般的な居住地域における制限を超える RF フィールドを放射しない、低ゲイン統合アンテナを装備しています。詳細は、カナダ保健省のホームページ (**www.hc-sc.gc.ca/rpb**) から安全コード 6 をお読みください。

このデバイスはカナダ産業省の RSS210 に準拠しています。

このクラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003、係争 4 と RSS-210, No 4 (2000 年 12 月) および No 5 (2001 年 11 月) に準拠しています。

" ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で、できるだけ窓から離れて使用します。屋外に設置されている装置 (またはそのアンテナ) は、ライセンスを受ける必要があります。"

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003, No. 4, et CNR-210, No 4 (Dec 2000) et No 5 (Nov 2001).

« Pour empêcher que cet appareil cause du brouillage au service faisant l'objet d'une licence, il doit être utilisé a l'intérieur et devrait être placé loin des fenêtres afin de fournir un écran de blindage maximal. Si le matériel (ou son antenne d'émission) est installé à l'extérieur, il doit faire l'objet d'une licence.

注意 : IEEE 802.11a ワイヤレス LAN を使用する際は、この製品は周波域 5.15 から 5.25 GHz の範囲で作動するため、室内で使用しなければなりません。カナダ産業省は同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、このデバイスを周波域 5.15 から 525 GHzの室内で使用することを義務付けています。高出力レーダーは、5.25 ～ 5.35 GHz 帯域および 5.35 から 5.85 GHz 帯域の一時ユーザーとして割り当てられています。レーダー基地は干渉を生じさせ、このデバイスが故障する場合があります。

ポイント・トゥ・ポイントの操作で、5.25 ～ 5.35 および 5.725 ～ 5.85 GHz の周波数範囲における E.I.R.P の制限に準拠しているため、このデバイスで使用できるアンテナ数は 6dBi です。

FCC RF の安全条件

LAN Mini PCI カードおよび Bluetooth カードの放射電力量は、FCC 無線周波被爆の制限値を大きく下回ります。いずれにしても、このコンピュータは正常な操作時における接触をできるだけ最小化するような状態で使用しなければなりません。

1. このデバイスは、周波域 5.15 から 5.25 GHz の範囲で作動するため、室内専用となっています。FCC は同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、このデバイスを周波域 5.15 から 525 GHz の室内で使用することを義務付けています。
2. 高出力レーダーは、5.25 ~ 5.35 GHz 帯域および 5.25 から 5.35 GHz 帯域の一時ユーザーとして割り当てられています。レーダー基地は干渉を生じさせ、このデバイスが故障する場合があります。

3. 適切に設置しなかったり、不正に使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じさせる場合があります。また内部アンテナを改造したりすると、FCC 認証と保証が無効になります。

<u>**カナダ - 低出力ライセンス免除無線通信デバイス (RSS-210)**</u>

RF フィールドによる人体被爆 (RSS-102)

このコンピュータは、カナダ保健省が定める、一般的な居住地域における制限を超える RF フィールドを放射しない、低ゲイン統合アンテナを装備しています。詳細は、カナダ保健省のホームページ (**www.hc-sc.gc.ca/rpb**) から安全コード 6 をお読みください。

このデバイスはカナダ産業省の RSS210 に準拠しています。

このクラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003、係争 4 と RSS-210, No 4 (2000 年 12 月) および No 5 (2001 年 11 月) に準拠しています。

" ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で、できるだけ窓から離れて使用します。屋外に設置されている装置（またはそのアンテナ）は、ライセンスを受ける必要があります。"

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003, No. 4, et CNR-210, No 4 (Dec 2000) et No 5 (Nov 2001).

« Pour empêcher que cet appareil cause du brouillage au service faisant l'objet d'une licence, il doit être utilisé a l'intérieur et devrait être placé loin des fenêtres afin de fournir un écran de blindage maximal. Si le matériel (ou son antenne d'émission) est installé à l'extérieur, il doit faire l'objet d'une licence.

注意 : IEEE 802.11a ワイヤレス LAN を使用する際は、この製品は周波域 5.15 から 5.25 GHz の範囲で作動するため、室内で使用しなければなりません。カナダ産業省は同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、このデバイスを周波域 5.15 から 525 GHzの室内で使用することを義務付けています。高出力レーダーは、5.25 ～ 5.35 GHz 帯域および 5.35 から 5.85 GHz 帯域の一時ユーザーとして割り当てられています。レーダー基地は干渉を生じさせ、このデバイスが故障する場合があります。

ポイント・トゥ・ポイントの操作で、5.25 ～ 5.35 および 5.725 ～ 5.85 GHz の周波数範囲における E.I.R.P の制限に準拠しているため、このデバイスで使用できるアンテナ数は 6dBi です。